

## 薬学部沿革

- 明治23年 7月 第一高等中学校に薬学科が付設される。
- 明治27年 9月 高等学校令の改正により、第一高等学校医学部薬学科となる。
- 明治29年 3月 卒業生には薬学得業士の称号が与えられる。(明治33年迄)
- 明治34年 4月 千葉医学専門学校薬学科と改称。
- 大正12年 4月 官立医科大学官制改正により、千葉医学専門学校は千葉医科大学に昇格し、薬学科は医科大学附属薬学専門部と改称。
- 昭和6年 11月 校舎新築移転。
- 昭和16年 10月 修業年限臨時短縮(昭和16年度は3ヵ月短縮されて12月に卒業)。
- 昭和16年 11月 修業年限臨時短縮(昭和17年度は6ヵ月短縮)。
- 昭和16年 12月 太平洋戦争開戦。
- 昭和20年 8月 第二次世界大戦終戦。  
昭和21年より在学期間旧に復す。従って昭和21年には卒業生なし。
- 昭和24年 5月 国立学校設置法が公布され千葉大学が設置される。  
千葉医科大学附属薬学専門部を母体として薬学部(4年制)が置かれた。(初代学部長宮木高名教授) 学年定員40名男女共学。旧専門部は廃止され従って昭和27年には卒業生なし。薬学部に薬学科が置かれた。
- 昭和31年 3月 入学試験期日一期校となる。
- 昭和31年 4月 薬学専攻科設置される。(修業年限1ヵ年)
- 昭和35年 7月 亥鼻地区より矢作地区旧医学部基礎教室跡に移転。旧校舎は改装され、泌尿器および肺癌研究施設が使用。
- 昭和39年 4月 大学院薬学研究科修士課程設置される(学生定員一学年18名)。薬学専攻科廃止
- 昭和41年 3月 千葉市弥生町地区に新校舎竣工。
- 昭和41年 4月 製薬化学科増設される。学生定員一学年40名(二学科80名)。
- 昭和41年 7月 千葉市や菟地区より千葉市弥生町地区に竣工した新校舎に移転。
- 昭和42年 9月 製薬化学科研究室・実習室及び製薬業界同窓生、教職員の寄付金による講堂(昭和42年3月竣工)落成式挙行。
- 昭和45年 3月 大学院薬学研究科修士課程に製薬化学専攻が増設される(学生定員一学年26名となる)。
- 昭和46年 3月 大学院薬学研究科修士課程に生物活性物質学(腐敗研究所の科目)が組入れられた(学生定員一学年27名となる)。
- 昭和51年 5月 附属薬用植物園が設置された。
- 昭和51年 10月 薬学系博士課程設置特別調査委員会要項制定。
- 昭和53年 4月 大学院学生定員一学年28名となる。
- 昭和54年 4月 薬学科、製薬化学科が総合薬品科学科に改組された(学生定員一学年80名)。  
大学院薬学研究科博士課程が設置された(学生定員一学年前期課程は29名、後期課程は12名)

となる)。

- 昭和57年3月 大学院講義室・研究棟竣工。
- 昭和60年4月 千葉大学が当番校で日本薬学会第106年会が開催される。
- 昭和62年1月 カナダ・アルバータ大学薬学部と部局間交流協定を締結。
- 昭和62年5月 故北川晴雄薬学部長（4月6日死去）の薬学部主催追悼式を挙行。  
生物活性研究所（旧腐敗研究所）の昭和62年度真核微生物研究センター組織転換に伴い、同研究所の薬学関係3研究部門（うち1部門は4月から）が薬学部に入入れられる（薬学部講座整備）。
- 平成元年3月 薬学部4号館完成。
- 平成元年7月 薬学部創立百周年記念式典と祝賀会が挙行される。
- 平成元年11月 百周年記念館が完成。
- 平成2年4月 タイ・チュラロンコーン大学薬学部と部局間交流協定を締結。
- 平成2年10月 千葉大学薬学部同窓会が発展的に解消して、教職員を含む新しい同窓会組織としての薬友会が発足した。
- 平成2年11月 千葉大学が当番校として第34回日本薬学会関東支部会が開催された。
- 平成6年6月 附属薬用資源教育研究センターが設置された。
- 平成8年2月 中国薬科大学薬学院と部局間交流協定を締結。
- 平成9年4月 大学院薬学研究科に医学薬学専攻が設置された。
- 平成12年1月 タイ・チェンマイ大学薬学部と部局間交流協定を締結。
- 平成12年4月 タイ・マヒドン大学薬学部と部局間交流協定を締結。
- 平成13年4月 大学院薬学研究科と大学院医学研究科を改組し、大学院教育組織として、医学薬学融合型の大学院医学薬学府（修士課程、4年博士課程、後期3年博士課程）と大学院研究組織として大学院薬学研究院（3研究部門）が設置された。また、薬用資源教育研究センターが大学院医学薬学府附属に移行された。
- 平成14年2月 オーストラリア・ニューサウスウェールズ大学 HIV 疫学・臨床医学ナショナルセンターと部局間交流協定を締結。
- 平成14年3月 千葉大学が当番校で日本薬学会第122年会が開催される。
- 平成14年9月 タイ・チュラロンコーン大学薬学部との部局間交流協定の締結が、チュラロンコーン大学との大学間交流協定となった。
- 平成14年12月 タイ・シルパコーン大学薬学部と部局間交流協定を締結。
- 平成16年4月 千葉市中央区に亥鼻新研究棟完成。11研究室が移動した。